

中学生防災通信ボランティア平成30年度第3回訓練

日時 平成31年3月17日(土)
午後1時30分～
場所 幡豆いきいきセンター
つつじホール

1 挨拶

2 第3回通信訓練の説明

- ・トランシーバについて説明
- ・訓練内容
 - ・避難所から土砂崩れ場所の説明を通話表を使って本部へ報告をする
 - ・自分の住所で土砂崩れがあったと想定する
 - ・場所の説明：メンバーの住所の西尾市〇〇町△△の内△△を通話表を使って行う

3 通信訓練実施

- ・各班(1～6班)に分かれて通信訓練実施
 - 1,3班 つつじホール(南、北に別れる)
 - 2,4班 2Fロビーの椅子(東西に別れる)
 - 5班 ボランティアルーム
 - 6班 6班、1F相談室隣談話コーナー
- 始めは奇数班が避難所、偶数班が本部で行い、終わったら交替

4 防災ビデオ

「津波・命を守る心構え」 ～3.11東日本大震災から学ぶ～
(出演 群馬大学大学院教授 片田敏孝)

5 3年生メンバーのユニフォーム返納式

卒業生 小畠保乃香 深谷明日香 深谷佐恵子 三浦あい 鈴木隆太
原田優希 山崎孝太郎 河合茉琳 川越夏姫 深谷つぶら
野口亜好伽

7 その他

- ・新年度のこと(継続でお願いします)
- ・OB、OGのこと
- ・卒業生名簿のお願い(次回訓練のお知らせをします)
- ・記念集合写真

別表第五号 通話表(第14条関係)

1 和文通話表

文字				
ア <small>あさひ</small> 朝日のア	イ いろはのイ	ウ <small>うえの</small> 上野のウ	エ <small>えいご</small> 英語のエ	オ <small>おおさか</small> 大阪のオ
カ <small>かわせ</small> 為替のカ	キ <small>きつて</small> 切手のキ	ク クラブのク	ケ <small>けしき</small> 景色のケ	コ <small>こども</small> 子供のコ
サ <small>さくら</small> 桜のサ	シ <small>しんぶん</small> 新聞のシ	ス すずめのス	セ <small>せかい</small> 世界のセ	ソ そろばんのソ
タ <small>たばこ</small> 煙草のタ	チ ちどりのチ	ツ つるかめのツ	テ <small>てがみ</small> 手紙のテ	ト <small>とうきょう</small> 東京のト
ナ <small>なごや</small> 名古屋のナ	ニ <small>にっぽん</small> 日本のニ	ヌ <small>ぬまず</small> 沼津のヌ	ネ ねずみのネ	ノ <small>のほら</small> 野原のノ
ハ はがきのハ	ヒ <small>ひこうき</small> 飛行機のヒ	フ <small>ふじさん</small> 富士山のフ	ヘ <small>へいわ</small> 平和のヘ	ホ <small>ほけん</small> 保険のホ
マ マツチのマ	ミ <small>みかさ</small> 三笠のミ	ム <small>むせん</small> 無線のム	メ 明治のメ	モ もみじのモ
ヤ <small>やまと</small> 大和のヤ	—	ユ <small>ゆみや</small> 弓矢のユ	—	ヨ <small>よしの</small> 吉野のヨ
ラ ラジオのラ	リ りんごのリ	ル るすいのル	レ れんげのレ	ロ ローマのロ
ワ わらびのワ	キ <small>き</small> ゐどのキ	—	エ かぎのあるエ	ヲ <small>をわり</small> 尾張のヲ
ン おしまいのン	ゝ <small>だくてん</small> 濁点	゜ <small>はんだくてん</small> 半濁点		
数字				
一 <small>すうじ</small> 数字のひと	二 <small>すうじ</small> 数字のに	三 <small>すうじ</small> 数字のさん	四 <small>すうじ</small> 数字のよん	五 <small>すうじ</small> 数字のご
六 <small>すうじ</small> 数字のろく	七 <small>すうじ</small> 数字のなな	八 <small>すうじ</small> 数字のはち	九 <small>すうじ</small> 数字のきゅう	〇 <small>すうじ</small> 数字のまる
記号				
一 <small>ちようおん</small> 長音	、 <small>くぎりてん</small> 区切点	└ <small>だんらく</small> 段落	（ <small>したむきかつこ</small> 下向括弧	） <small>うわむきかつこ</small> 上向括弧

注 数字を送信する場合には、誤りを生ずるおそれがないと認めるときは、通常の発音による。(例「1500」は、「せんごひやく」とする。) か又は「数字の」の語を省略する(例「1500」は、「ひとごまるまる」とする。)ことができる。

「使用例」

- 「ア」は、「朝日あさひのア」と送る。
- 「バ」又は「パ」は、「はがきのハだくてんに濁点」又は「はがきのハはんだくてんに半濁点」と送る。